

乗雲

寺報

第131号

R7/12/1 発行

1985/4 創刊

〒959-2646 新潟県
胎内市西栄町 2-8
TEL 0254-43-2419
FAX 0254-43-4560
編集人 広厳寺
住職 神田英俊

メール
otera@kogonji.jp

身を削り人につくさん

すりこぎのその味知れる

人ぞ尊し

福井県の大本山永平寺、修行僧の食事を司るところを庫院（くいん）と言う。その入り口に大きなすりこぎ棒が掛かっている。参拝者がその御利益を頂戴しようと触って撫でるのでそこだけ白くなっている。

修行中には一定期間、典座寮という料理作る寮舎に配役される。そこでは様々な精進料理を調理するが、すりこぎ棒を使い丁寧にゴマを摺ってゴマ豆腐を作る。すりこぎ棒は山椒の木がよく用いられるが使っているうちに段々と棒が削れていく。このことから表題の文ができる。（作者年代は不明）すりこぎに託して食事を作っている人への感謝を表しているが、深い意味ではすりこぎの有り難さが分かる人こそ

尊いものであると解釈できる。

お釈迦さまの教えには、「自未得度先度他」という「自らを救う前に、まず他の人を救済し幸せに導こう」とある。自分のことは後にし



永平寺のすりこぎ棒

他者を救うことが仏教者の生き方であると説く。すりこぎのように身を削り人につくすことは容易なことではないが、その行為こそが

感謝に値する尊い仏行となる。

九月までNHKで連続テレビ小説「アンパン」が放映され、やなせたかしさん、奥様のぶさんと共に戦中戦後の時代を生き、正義のヒーロー「アンパンマン」が誕生するまでの物語でした。アンパンマンはつねに子どもたちのヒーローであり、今でも人気キャラクターです。その魅力はやなせさんの戦争体験から、「戦いに勝つこ

とはなく、ひ

もじい者に食べ



物を与える」そ



こから、自分の顔すなわち命を削って困っている人を助ける、自らの犠牲の上で弱い者、困っている人に食べ物を与え助けてあげる、という正義のヒーローでした。

「身を削り人につくさん…」永平寺のすりこぎ、「自分よりも先に他者を救う」自未得度先度他の教え、「飢えている人を助け幸せにする」正義の味方アンパンマン、みな二度とない人生、この世を生きていく上で一番大切なことを教えてくれている。

令和八年 年回忌表

〔回忌〕
〔没年〕

一周忌	令和七年
三回忌	令和六年
七回忌	令和二年
十三回忌	平成二十六年
十七回忌	平成二十二年
二十三回忌	平成十六年
二十七回忌	平成十二年
三十三回忌	平成六年
五十回忌	昭和五十二年
百回忌	昭和二年

▼令和八年度(2026)の年回忌表です。

当寺では個人情報保護の観点から本堂には張り出ししていません。年忌に当たられている各家には次年度分として十一月中旬に通知いたしますのでご確認ください。▼日曜・祝日のご法事の申し込みはお早めにお問い合わせいたします。▼「周」は「めぐる」ことを意味する言葉で、亡くなってからちようど一めぐりした翌年のその日を一周忌と呼ぶ。回忌とは亡くなられた日を最初の忌日と考えて、三回目の忌日が「三回忌」となる。以降は丸六年目が七回忌、丸十二年目が十三回忌となる。

〇月忌米・護持費納入のお願い

十一月に担当役員さんより納付書をお届けいたしました。金額を確認の上役員さん宅へ届けるか、直接お寺へお持ちください。また納付書が郵送されている方は同封郵便振替用紙にてお振り込みいただくか、お寺へお持ちになっても構いません。なお、振込の場合は領収書を発行しておりません。郵便振替払込受領証をもって領収書の替わりとさせていただきます。よろしく願います。

〇来年度年回忌のご案内

十一月に来年度年回忌に当たられている各家にはそれぞれ郵送にてご案内通知を送付いたしましたのでご確認願います。なお、通知書記載の十一月、十二月中の年忌については来年のことですのでお間違えのないようお願いいたします。年忌読経供養につきましては日時を検討してお早めにお申し込みください。特に土日は混み合います。都合で命日より遅れても差し支えありません。

〇今年のお盆、ご先祖様を思い、ご家族揃って沢山の方がお参りされました。



13日ポッポ焼き出店



▼十三日午後二時から本堂にて読経後、境内墓地供養、孫二人も墓経、お茶の接待等一生懸命にお手伝いしてくれました。▼十九日クリーンセンターによる集めたゴミ処理で終了。



町の話題

〇八月二十日 市慰霊祭

産業文化会館に於いて中条・黒川地区遺族会主催にて戦没者慰霊祭が举行された。今年は終戦八十年の節目の法要となりました。

〇八月二十三日、長橋地蔵尊祭礼

長橋交通安全地蔵尊祈願祭が胎内市長、新発田警察署胎内分所長、県議会議員、他交通安全協会会員多数参列にて举行された。

〇八月二十四日 柴橋宝塔祭

関係ご寺院四名により宝塔様祈願回向、柴橋・大塚両村各家の先祖供養施食会を厳修した。

〇八月二十八日 八・二八羽越水害

(昭和四二年・1967) 消防殉職者

及び水害旬難者追悼法要

胎内観音・帰林殿に於て胎内観音御詠歌奉詠、読経、追善供養御和讃奉詠。胎内市長、市議会議員等多数参列し举行された。主催は旧黒川村観音奉賛会。

〇九月十四日 胎内市長選挙

三期目を目指す井畑明彦氏が当選されました。

心を込めて打ち鳴らす音

千眼寺住職 神田秀孝

私の住んでいる地域では各家庭に防災タブレットが配布され地震、台風、火災などの災害や気象情報、地域のお知らせなどを知ることができ生活に欠かせないものの一つになっています。毎日決まった時間になると音声が流れ時刻を知ること出来ます。

普段私たちは様々な音に囲まれて生活していますが、お寺にも音を発する道具、鳴らし物があります。大みそかの除夜の鐘、時刻を知らせる梵鐘の音、法要の際に合図として鳴らす鐘や木魚、太鼓、鈴などがあります。それぞれに鳴らし方の作法があり慣れるまでは難しいものです。その中には分厚い木製の板、木版があり法要での合図や、修行道場では修行に入る際、門の前で一番始めに打ち鳴らすものです。この木版には次のような意味の言葉が書かれています。『仏道を修行し人生の意味を明らかにすることは大切なことである。一

切の現象は速やかに移りゆき、人の命は瞬時も止まらない。各自この事に気づき日々怠ることのないように』この木板の音には『しっかりと修行に励みなさい』というメッセージが込められています。

福井県の大本山永平寺を開かれた道元禅師様は『無常迅速なり、生死事大なり。暫く存命の間、業を修し学を好まんには、ただ仏道を行じ仏法を学すべきなり』そして『一事を専らにすべし』と示されました。限られた人生の中で、出会えた仏の教えを究めることは到底及びませんが、であるからこそ鐘を一回鳴らすことにも心を込めて丁寧に行い、日々のたった一つの動作であつても大切に、ただ一心に仏道を実践していきたいと思えます。

早いもので今年も一年の半分が過ぎました。無理をせず目の前の一つのことに集中し、一日一日を大事に過ごしていきたいものです。

*この法話は令和七年七月一日より十日までの新潟県第四宗務所テレビン法話でのお話を掲載しました。

仏事の知識

開蓮忌

開蓮忌の法要とは亡くなられた日から数えて三日目に行われる法要のことをいう。当地の曹洞宗では葬儀の日に併せて開蓮忌法要と三十五日法要を行う風習がある。開蓮とは、開く蓮、蓮の花が開くときにはその真ん中に丸い台座のようなめしべがあるが、亡くなられた人がその蓮の台座に座られる、その場所が定まったことを意味する言葉である。開蓮忌の起源は、「釈氏要覧」にあり、中国・北齊で国王の家臣であつた者が死に際に、雇人と馬を殉死させるよう言い残し亡くなった。ところが、雇人は生き返つて戻つた。家臣はこの世の苦しみよりもっと大変な苦しみを受けるが、雇人を生き返らせ、遺族に自分の供養をしてくれるよう頼んだ。懇ろな供養によつてその苦しみから逃れ、蓮の台座の上で安らかになられたという。それが亡くなられて三日目のことであつた。

仏事の知識



永代供養墓地「涅槃聖苑」

▼継承を前提としない永代供養のお墓です。予め定められた供養金を納入いただければ、その後の維持管理費もありません。少子化により先行きに不安がある方、お一人様やご夫婦での申込みができます。▼代々



涅槃聖苑 ⇒



続いてきたご先祖の墓終いをして永代供養を申込む場合は、ご先祖分の永代供養金が必要となります。この場合は最初から合祀となります。▼新しく亡くなられた方についてはご遺骨を骨つばに収め個々の区画に安置します。七回忌を目途に合祀します。▼檀家登録をしてお墓のみ利用することも可能です。個人で墓石を建立する必要がなく、墓石工事代もかかりません。



広厳寺研修旅行ご案内**飛騨高山・円空仏参拝の旅**

令和 8 年 5 月 20 日 (水) ~ 21 日 (木)

(一泊二日)

旅費 4 万 9 千円

- ・物価高で旅費も値上がりしていますが、当寺では旅行支援割を実施し、参加される方には旅行当日 3000 円のキャッシュバックがあります。
- ・詳細は折り込み案内をご覧ください。

**□秋の仏教講演会終了**

十月十一日 (日) 午後一時三十分〜三時まで。当寺会場にて胎内市曹洞宗寺院主催の仏教講演会が開催され無事終了した。

講師は京都・日蓮宗蓮久寺住職 三木大雲師。

怪談をベース

にした法華教による仏の教えをお話しいただいた。聴講者は百三十名でした。

**□境内風景**

八月十一日 乗雲閣 (位牌堂)

二階三階LED照明工事 中村電気
八月十二日 お盆駐車場

照明仮設工事 中村電気
八月十九日 墓地自然ゴミ処理

クリーンセンター
八月二十日 柴橋川 (本堂裏) 堤防

草刈り シルバー人材センター
八月二十四日 柴橋川清掃

中条祭前の担当地域町内清掃
九月二十九日 乗雲閣 (位牌堂)

一階LED照明工事 中村電気
九月二十九日 墓地ゴミ処理

小野工務店
計報 小舟戸 高橋茂男氏逝去

十月十九日寂、享年七十七。長年当寺役員として尽力されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

**和尚さんの言の葉**

曹洞宗新潟県第四宗務所

テレホン法話

和尚さんのお話をお聞きください。

お寺からのお願い

▼**位牌堂の各家位牌壇のロウソク、お線香について**、お線香は香炉から灰がこぼれないように真っ直ぐに立て、点したロウソクは火災予防の為お参りが済みましたら必ず火を消してください。

▼**墓地の自然ゴミ**(枯れ枝、枯れ草、枯れたお供えのお花等)は、お寺で業者に依頼して処分しますが、それ以外のお花を包んであった紙、お墓掃除のたわし、雑巾、洗剤容器、ビニール類は捨てないでください。各自持ち帰って処理してください。

▼**古い塔婆**は、参道中程に「古塔婆入れ」がありますのでご利用ください。集落墓地の古塔婆もお持ちください。

▼**あさがおぼんぼり**は新発田で多く見られる習慣です。八月十三日の夕、暗くなってから精霊様をお迎えるための灯りとして点けるもの。昨今、日中明るいうちからのお参りが多くなったのでぼんぼりは不要かも知れません。最近では立っていないお家が増えてきています。

寂光塔 (永代供養墓地)

一人暮らしの方、お墓継承に悩みの方、お寺が永代にわたり供養いたします。広厳寺ホームページにも詳細が掲載されています。



寂光塔 (永代供養合同墓所)

動物供養塔 (ペット墓地)

動物のお骨を埋葬いたします。檀家さん以外でも納骨供養できます。



動物供養塔 (ペットのお墓)

